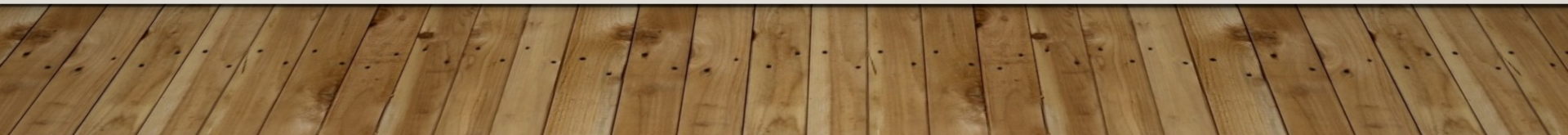


高浜原発3・4号機仮処分 大阪高裁決定について



高浜原発3・4号機仮処分 大阪高裁決定

- 過去の多数の地震の『標準的・平均的な姿』よりも大きくなるような地域性が存する可能性を示す**データが存在するとは認められない。**

80m - 20m = 0m ?

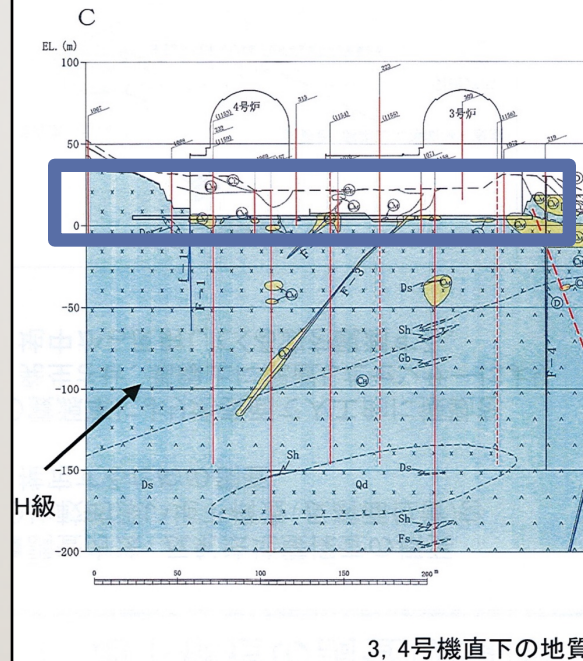
査(地盤モデルの評価)

の諸元は以下のとおりであり、Vs=3.6km/s層は

度 (°)	S波速度 (km/s)	密度 (g/cm ³)	層厚 (m)	上面深度 (m)
	0.5	2.08	0.08	0
	2.3	2.7	0.19	0.3
	2.4	2.7	0.14	0.5
	2.5	2.7	0.14	0.6
	2.6	2.7	0.13	0.7
	2.7	2.7	0.04	0.9
	2.8	2.7	0.04	0.9
	2.9	2.7	0.14	0.9
	3	2.7	0.11	1.1
	3.1	2.7	1.83	1.2
	3.2	2.7	0.31	3.0
	3.3	2.7	0.29	3.3
	3.4	2.7	0.14	3.6
	3.5	2.7	0.28	3.8
	3.6	2.7	-	4.0

1 地下構造の調査(地質断面)

原子炉建屋基礎岩盤については、CM級以上の岩盤が



原子炉格納施設

解放基盤表面
(ここで基準地)



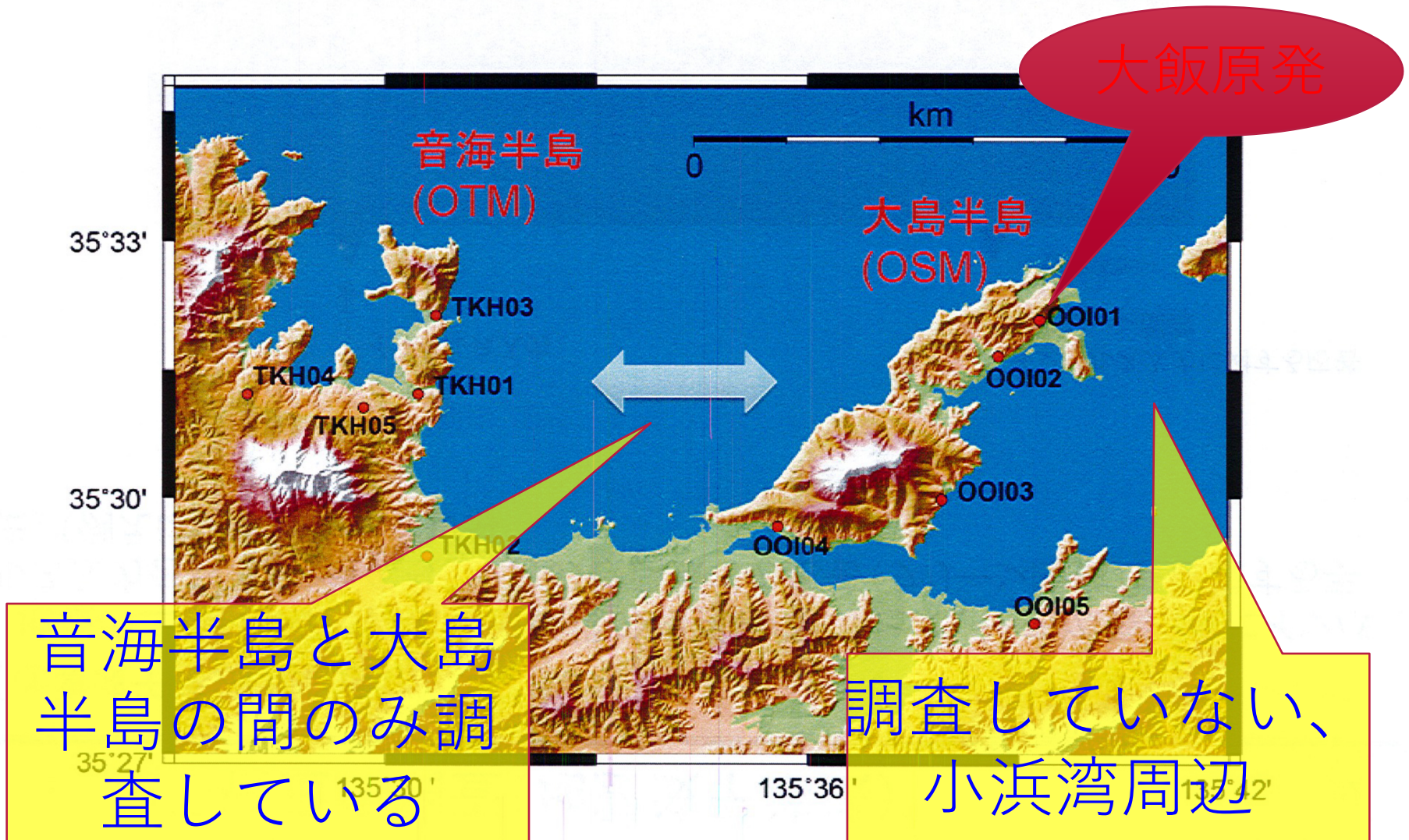
岩盤

発電所の解放基盤表面の模式図

準備書面(36)別紙図表1-

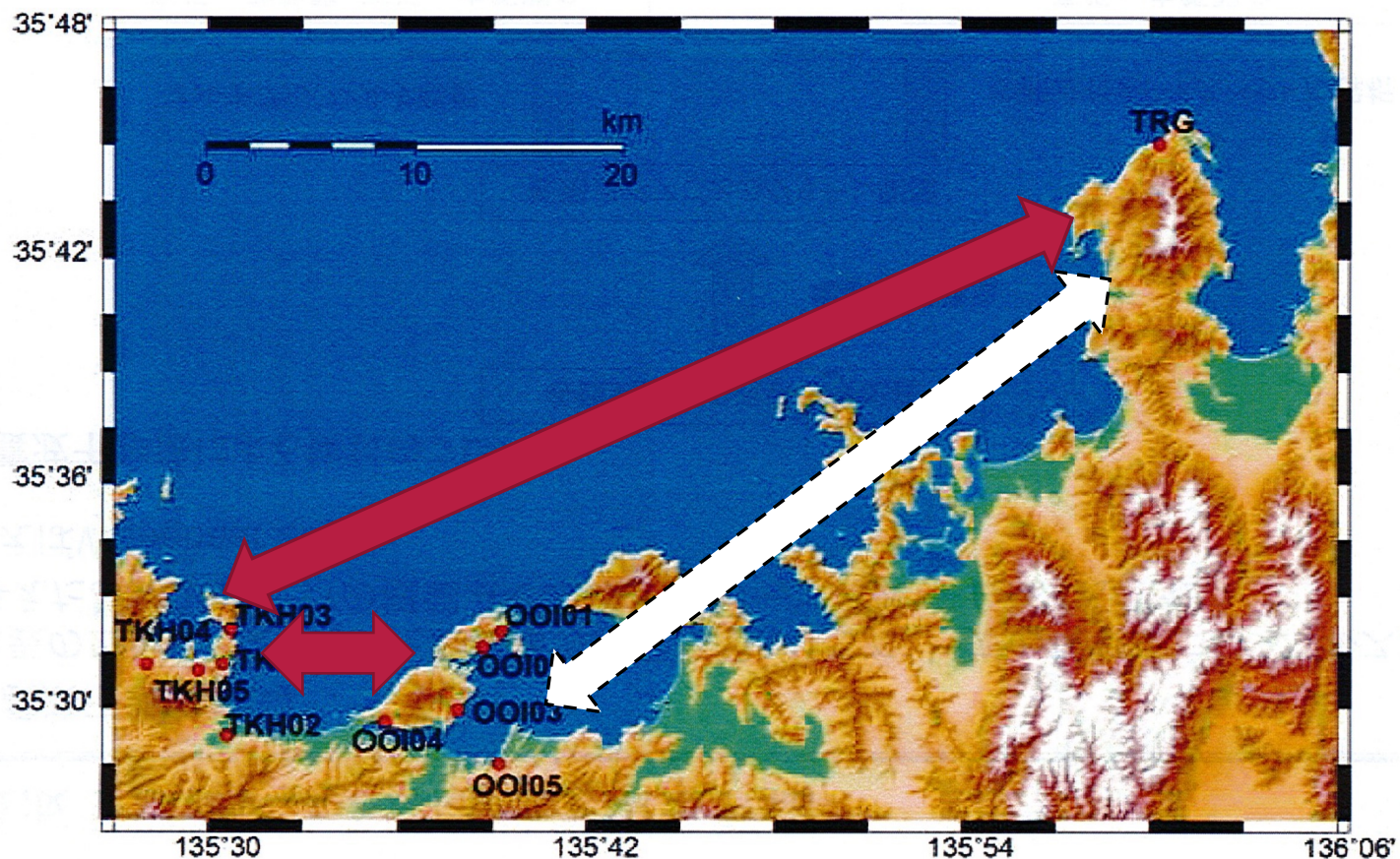
2. 1 地下構造の調査(地震波干渉法)

■大飯・高浜発電所周辺で7月末より12月末まで実施した地表面地震観測で得られた常時微動記録を用いて、地震波干渉法による深部地下構造の評価を行う。



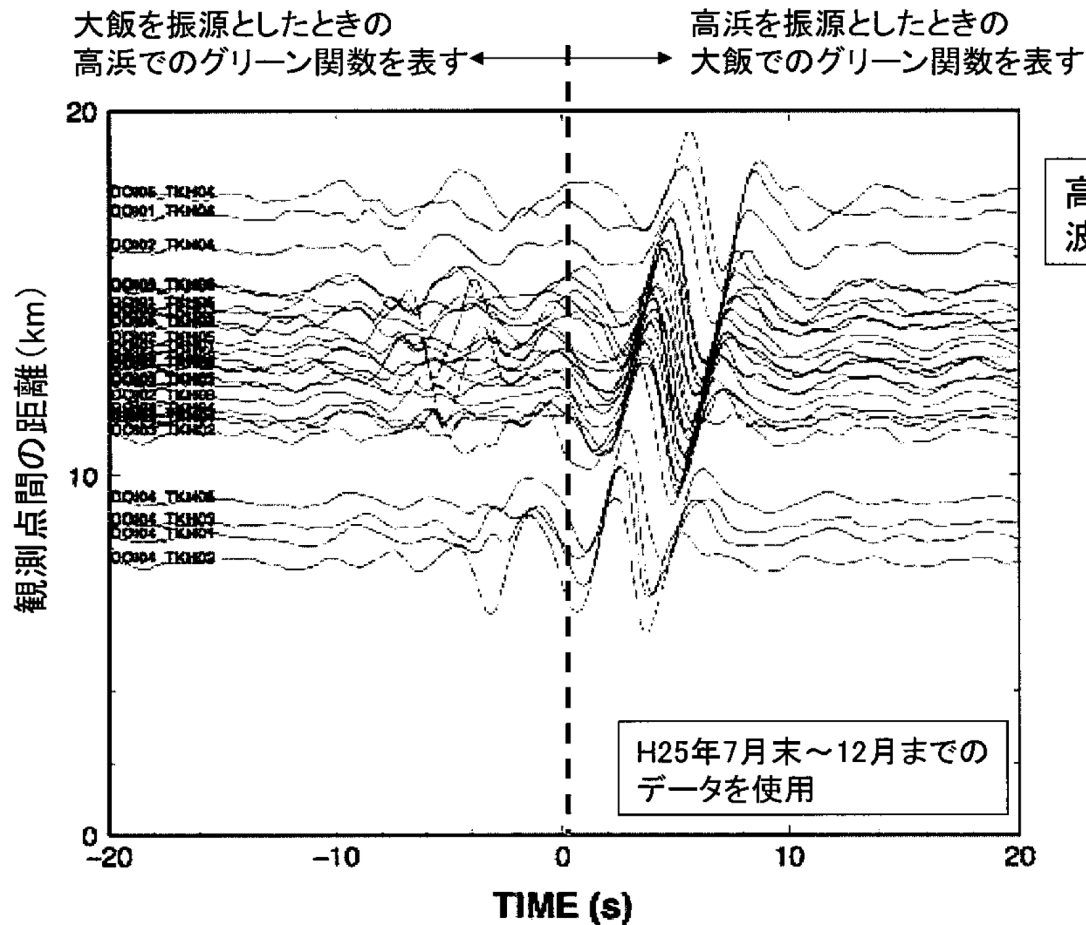
②地震波干渉法による深部地下構造評価

■大飯・高浜発電所周辺で7月末より実施している地表面地震観測および敦賀発電所での地震観測で得られた常時微動記録を用いて、地震波干渉法による深部地下構造の評価を行う。



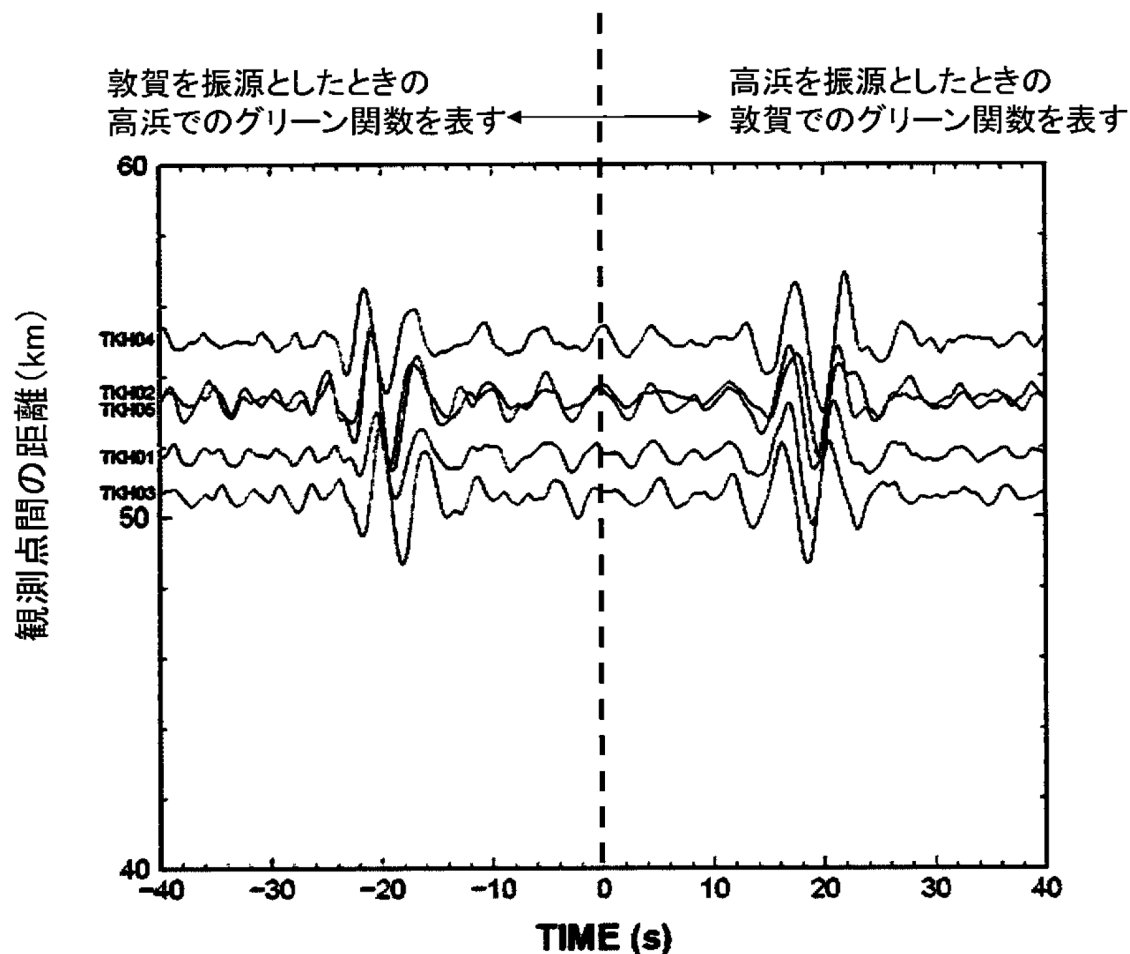
地震波干渉法によるグリーン関数の推定

■高浜～大飯間の全ての観測点ペア (25通りの組み合わせ) のグリーン関数(上下成分)を評価した。



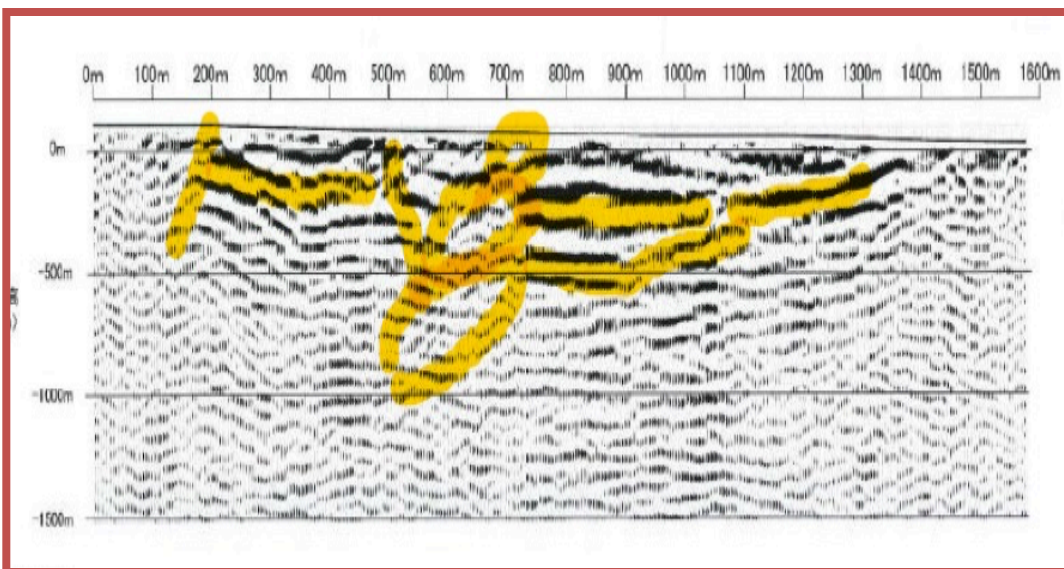
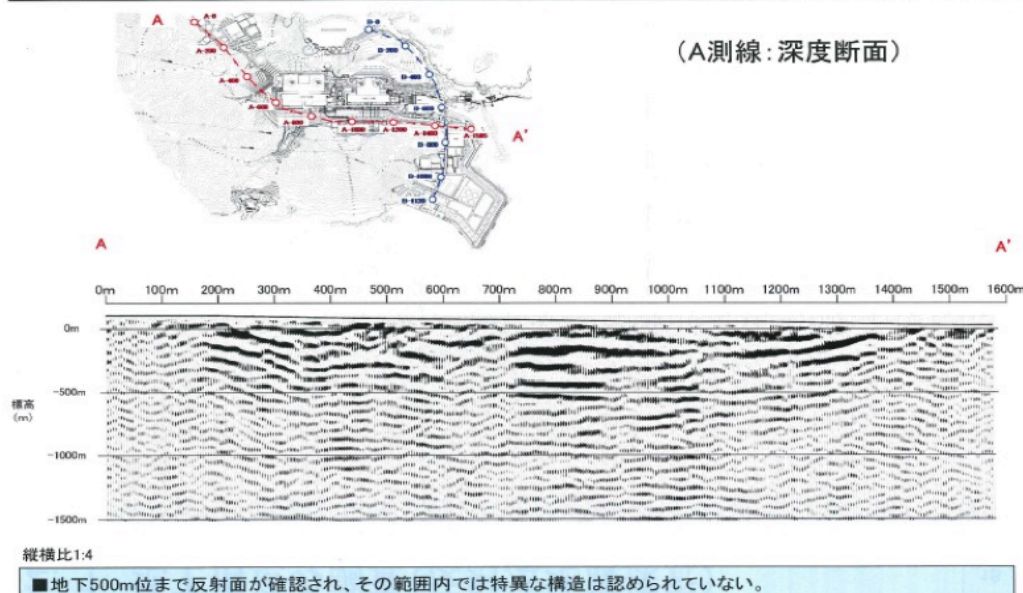
高浜から大飯へ伝播する波を対象として検討する。

- 高浜の各観測点～敦賀間についても、全ての観測点ペア(5通りの組合せ)のグリーン関数(上下成分)を評価した。



2.1 地下構造の調査(反射法地震探査)

17



私のような、反射法地震探査の技術で油田発見に従事してきた者から見ると、この反射断面を一瞥して、大飯原発の建屋の近傍の地下構造は変化しており、断層の存在が推定されると判断します。なぜなら、①反射波列の形が水平あるいは単調な傾斜でなく、畝ったりしていること、②反射波列がず一つと連続的に連なっていないくて、何力所かで破断されていること、③回折波という特異な波列が見られ断層の存在を強く示唆していること、④そして回折波の現れ方から、推定される断層の走っている方向が、原子炉建屋の方向ではと危惧されることです。

科学者の力強い協力の例
田村八州夫先生

一審被告が主張立証すべきこと(伊方型アプローチ)

- 基準適合性
- 具体的基準の合理性や調査審議過程に看過しがたい過誤・欠落がないか